

# 講演で紹介する事業承継の事例

## 事業引継ぎ概要

引継ぎ対象：(株)恵比須堂（福井市）  
 譲渡者：(株)恵比須堂 代表者 中道 直（68歳）  
 和菓子製造（羽二重餅、けんげら等8種類）資本金1000万円 従業員数5名  
 譲受者：(有)ワークハウス 代表者 嶋田 祐介（32歳）  
 障がい者就労継続支援サービス 資本金300万円 従業員数88名  
 譲渡方法：事業譲渡  
 契約書調印：平成30年5月31日

## 募集引継ぎまでの経緯

(株)恵比須堂の中道社長は後継者問題に悩みを抱え、平成29年9月に、福井県事業引継ぎ支援センターに相談されました。(株)恵比須堂は大正6年(1916年)に創業、100年以上続く老舗の和菓子屋であり、中道社長自身も従業員時代に先代から株式譲渡により事業を受け継いだ経験をお持ちで、幅広く後継者候補を探ってはいたものの見つからず、同センターの助言を受け、自身の年齢・体力面を考えた上で、第三者承継を選択されました。

その後、同センターでは事業引継ぎ先を探す中、平成29年11月に福井信用金庫より「(有)ワークハウス」嶋田社長が事業規模拡大のため、事業譲り受けを考えているとの紹介を受けました。同センターでは両社の条件等の整理・検討を行い、共に事業継続/技術承継/継続雇用といった点で一致しているとの基本合意を得たうえで、専門家を交えて条件面や経営面での調整、特に事業譲渡によるシナジー効果について検討を重ねました。

その結果、(有)ワークハウスは従来から行なっている障がい者支援において障がい者の就労場所を確保することができ、一方の(株)恵比須堂は人材不足の不安が解消される効果が生じ、両社にとってメリットがあることを確認しました。

中道社長の希望する継続雇用についても、工場長以下パートの方からも同意をいただき、中道社長自身からも菓子製造の技術・ノウハウの承継のために協力いただけることとなり、双方が納得できる事業引継ぎ(M&A)事例のモデルとなって、多くのマスコミからも紹介されました。平成30年6月からは名称を「えびす堂」に改め新たなスタートを切っています。

## 嶋田 祐介 氏 プロフィール

福井市内で、就労継続支援事業(2事業所)大型車の板金塗装業、和菓子屋えびす堂の多分野の会社を経営する「(有限会社)ワークハウス」の代表取締役。21歳で自動車運転業で起業し、貿易業、IT業を営む中、就労継続支援事業を立ち上げた父親が1年後に急死。就労継続支援事業を引き継ぎ、3年で従業員数3倍近い成長を遂げた。平成30年に100年の歴史を持つ「恵比須堂」の事業引継ぎを行い事業拡大を進めている。

## 参加申込書

にチェックしてください。 ※ご記入の情報は厳重に管理し、目的以外には使用しません。

- ・本セミナーにご参加いただくためには事前のお申し込みが必要です。 ・下記事項をご記入の上、本紙をFAXにて送信願います。
- ・お電話でのお申し込みもお受けいたします。

参加希望日		<input type="checkbox"/> 大館会場 10月10日(水)	<input type="checkbox"/> 秋田会場 10月11日(木)	<input type="checkbox"/> 横手会場 10月12日(金)
フリガナ		個別相談希望		
お名前		<input type="checkbox"/> 相談希望 有り <input type="checkbox"/> 相談希望 無し		
フリガナ		役職等		
会社名		<input type="checkbox"/> 経営者 <input type="checkbox"/> 個人事業主 <input type="checkbox"/> 会社役員 <input type="checkbox"/> 後継者 <input type="checkbox"/> 支援者 <input type="checkbox"/> その他		
ご住所	〒    —	電話                    (    )		
		FAX                    (    )		

秋田県事業引継ぎ支援センター 行き FAX : 018-864-6660